

平成 29 年度 第 4 回寝屋川市特別職給料審議会 議事概要

会 議 名 称	平成 29 年度 第 4 回寝屋川市特別職給料審議会
開 催 日 時	平成 29 年 10 月 5 日 午後 2 時～午後 3 時 40 分
開 催 場 所	上下水道局 3 階会議室
出 席 者	<p>(委員)</p> <p>鵜養委員、濱中委員、谷口委員、寒川委員、郡委員、谷本委員、小西委員、井上委員、中島委員 以上 9 名</p> <p>(事務局)</p> <p>南総務部長兼人事室長、木場人事室課長、中村人事室係長、南、森</p>
傍 聴 者	1 名
主 な 議 題	<p>1 審議事項</p> <p>(1) 諮問に対する答申書の素案について</p> <p>(2) その他</p>
議 事 経 過	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・審議 ・事務局より事務連絡 ・閉会
審 議 内 容	<p>1 前回の議事概要の説明</p> <p style="padding-left: 2em;">第 3 回特別職報酬審議会の議事概要を説明</p> <p style="padding-left: 2em;">事務局からの答申素案の読み上げ</p> <p>2 委員からの発言</p> <p>○ 前回の会議で 19 年前に給料の改定があつて、それ以後に社会情勢が V 字回復している。前回の議事概要に給料を引き下げる要素はないと記載があるが、少し語弊があり、社会情勢の変化を見据えながら議論を進めるべきであるという趣旨である。</p> <p style="padding-left: 2em;">一般職員が 19 年前からマイナス 8.45%引き下がっているため、特別職も準じて引き下げるといふ議論もあるが、中核市に移</p>

行するという要素もあり、準備行為も踏まえ、総合的に勘案しなければならない。ただ、一般職員に準じた引き下げとは合わないのではないかと前回は議論したところであり、近隣の市の水準を見ると、現状から引き下げないといけませんが、今後、下げ幅を検討すべきである。

- 19年の間に、随時、審議会を開催し、社会情勢に見合った給料の反映ができれば、一番よかったのではないかと考える。
- 市長が、独自の判断で給料を引き下げているが、社会情勢に適応しているのではないかと考える。
- 市長は他と比較して、給料は突出していないが、副市長、教育長は若干高いので、結論的に、特別職の給料すべてを一律に引き下げるのでは納得できないのではないかと考える。
- 特別職非常勤職員の報酬について
 - ⇒ 市議会議員のことではなく、条例に規定する特別職非常勤職員である消防団、固定資産評価委員等についても長年、報酬を改定していないので、今回の特別職の給料の答申内容を踏まえて、留意するということである。
- 特別職の給料を近隣の枚方市の水準ぐらいにすべきではないか。
- 近隣中核市とはどこか
 - ⇒ 豊中市、高槻市、枚方市、東大阪市になる。

○ 中核市移行への準備段階で給料を上げるのはおかしいのではないか。

⇒ 中核市の移行を踏まえ、現時点で、給料を上げるということではなく、一定、近隣中核市の給料水準についても留意しておくべきと考える。

○ 「副市長、教育長の給料は、近隣中核市より若干高くなっている。」という文章は次の段落の一般職がマイナスであるということから特別職が高すぎるという印象を受けるため、もう少し正確に記載すべきではないか。

○ 副市長は、市職員から選ばれた人であるか。

⇒ 1名は市職員から選出され、もう1名は外部から選出されている。

○ 答申の記載において、誰が見ても理解できる表現にすべきである。

⇒ そのように修正し、次回の審議会に提示する。

3 事務局からの提案

○ 次回の第5回の審議会で議論が尽くせない場合は、追加開催も視野に入れるべきと考えるがいかがでしょうか。

⇒ 状況に応じて、追加開催する。